

---

# 主人公による主人公のための主人公

紅の雲雀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

主人公による主人公のための主人公

### 【NNコード】

ZZ5532ZZ

### 【作者名】

紅の雲雀

### 【あらすじ】

どうも、僕だよ。

この物語は僕による僕のために僕の物語だからね。

自己中心的で自分勝手な僕の人生が綴られているだけの物語さ。

みんな号泣するような本編なんてとっくの前に終わってたんだから。

これは僕の中の後日談。  
君らにとつての本編。

この小説は1話500文字前後の短い小説です

## 始まり?いや、始まつませんよ（前書き）

自分勝手に書いてみた結果がこれです。

自分的に自信作で。

自分的に大変悪い作品になつております。

はつきり言つて自分で何かいてるか分かりません。

ですので、苦情は受け付けません。

それではどうぞ。

## 始まり?いや、始まりませんよ

もしこの世界に主人公がいたら?  
よく「自分の人生の主人公は自分だ」ってさ。でもそんなものじ  
やなくて。

この世界で起きてる事件や出来事を解決する主人公。

そんなのがいたら世界は主人公の正義を振り回されるな。  
主人公が「アイツは悪」って言えば悪になつてみんなは悪を嫌う。  
自分は正義なんだから何でもしていい。

自分は正義なんだから何しても許される。

自分中心的な考えを相手に押し付け、自分の正義のために戦う。

主人公つていう肩書きは便利だ。

「自分が正義」！ って言つてしまえばそつなる。

そしてヒロインがいるだろ？

主人公の幼馴染だとかクラスメートだとか。

ヒロインに巻き込まれて主人公はヒーローになつてしまつたり。

最後はハッピーエンド？

羨ましい身分だな。

それで素晴らしい仲間たちと共に戦うんだろう？

同じかどうか分からぬけどその自己中心的な正義の基に戦うん  
だろ。

愉快なこつた。

これほどムカつくことがあるだろうか？

だから僕は主人公つてものを嫌う。

というかこんな幸せな主人公もどきが嫌いだ。

本当の主人公はもつと独りで。

もつと弱く。

もつとカッコ悪い。

そんなもんだよ、主人公なんて。

起きたら電球が切れてて。

電球を行く途中で犬の糞を踏んでしまって、子供に笑われて……。

電球のサイズが違つて取り替えてもらうため店まで行った。

その途中「アイツ犬のフンを踏んだドジ野郎だぜ」と笑われ……

小石に躓いた。

店に行つたけど、欲しかつた電球のサイズのものが売り切れてた

……ありえないだろう普通。

こんな出来事僕の生きてきた人生の一部の出来事でしかないけど。

僕は不幸体質らしい。

よく物語で不幸体質の主人公つているけど。

アレは主に女の子が関わる不幸だ。

どつかの誰かみたいに「ふこーだー」つて叫べば良いのかな?

叫んだら女の子が落ちてくるのかな?

今、ここで、主人公が、「ふこーだー」つて、叫んだら

物語は進むのかな?

まあ、僕は進まなくていいや。

進んだところで正義なんて興味ないし。

誰かが言う悪を正義で捻じ伏せるという性格してないし。

僕の相手をする人が可哀想だよ。

だからこの世界は起承転結の転は起こらない。

だつて僕が主人公だから。

ある日の事。

なんて思わせぶり書いてみるけど何も起こらす。

僕を主人公とする世界は何も起こらざ平和だった。

もしかして「主人公が世界を壊す」という物語なのでは?と思ひ  
ような日常。

それが「実は僕は主人公ではなく一般人で、僕が知りえないところ  
で物語は進んでる」とか。

まあ、僕以外が主人公ってのはないな。  
だつて……僕がこの世界を創つたんだし。

驚くようなことじやないよ、だつて僕主人公だし。  
ほら、アレだよ。主人公なら何しても許されるつてやつ。  
そう、それだよ。

そんな感じで創つてみた。

前の世界は意外とつまらなかつたよ。

偽善者ヒヨウザイが主人公を氣取つてゐる世界なんてね。

だから僕は主人公らしい我ワタシで偽善者を自分の正義で捻じ伏せた。

呆氣なかつたよ。

僕が散々と言つてきた主人公の自己満足や自己中心的考え方や我ワタシ  
で。

努力の成果も、築き上げた友情も、育まれた愛も。

一瞬で無に帰つた。

所詮は偽者、本物には叶わない……。

という感じにダークヒーローなんかより捻くれた僕だつたけど。  
何も起きない世界でのんびり主人公をやつてる。

だけどまあ、唯一の敵といえば……。

これから現れるだろうダークヒーロー。  
めんどくさいものだ……。

善も悪も全ては平等に一緒にだよ

晴れの日も雨の日も風の日も。  
傘も差さず、ただ空を見上げて。  
誰かと群れあうことを見れた弱者きみが言ひ。

バーカ。

ここで秘密を話そう。

重大な……とても重大なお話だ……。  
少年誌の主人公にとつてタブーなのは……と考えてみよ。う。  
特殊な能力を持つてない? 女の子にモテない? ぼっちは?  
いやいや、違う。そんな些細問題じゃないよ。

少年じゃないことだ。

まあ、例外はあるけど。

例えば、もうすぐ1000巻に到達する題名の長くて噛みそそうに

なるマンガとかね。

でも、世の中の常識では少年誌の主人公=少年だらう? それか少女。

何を隠そう僕は中年のおっさんだったのだ……!

という「冗談は置いといて話を進めよう。

少年誌の主人公のタブー……。

例えば……最初から最強無敵だつたり、敵が変身してゐるのに攻撃

するほど空気が読めなかつたり、連續殺人事件の犯人だつたり。

生温いギャグなんて無視した悪逆非道の人だね。

だから僕は少年誌の主人公にはなれない。

だから僕はこの世界の主人公をしてる。

平和な世界のね。

戦争も、友情、恋愛も何も起こらない世界で。

何も変わらず、何も変えず。

もし変わるとするなら、ダークヒーローが変えるのだろう。

主人公を気取つて仲間を引き連れて僕を倒しにね。

だからある意味僕はこの世界の敵になるのかも知れない。

僕は“何も”してないのにね。

これもまた運命なのかもしれないけど。

世の中が平和でありますように……。

と、まあ、暇人なもので暇人らしく暇潰しをしてみたりする。

だけど世界は変わらず動く。

相も变らぬ世界関心するよ。

ということで僕の正義についての講座でも開こうかな？

ん？ 興味ない？ なら仕方が無い。

それじゃあ、今日は……悪者講座を開こうか。

全ては僕の嘘フィクションだから真面目に聞いちゃダメだよ？

それでは、始まり始まり……。

前に主人公つてものを否定したけど、特別悪者を否定しないわけじゃないよ？

まあ、悪者も主人公も寸劇見てると同じだよね。

ヒーローものとかでよくあるじゃん。

負けた 新しい力を手に入れる 簡単に敵に勝つ 次からそんな

に強くもなくなる。

のループ。

子供なんてヒーローが悪者に勝つといひを見たいんだから。  
でも僕は思うんだ。

悪者も修行すればいいじゃないか。

ヒーローばかり修行するんじゃなくてさ、悪者も修行して。

ヒーローを立ち直れないくらいぶちのめせばいいじゃん。

悪者も不思議な力を手に入れればいいんだよ。

ヒーローになんて負けない力をね。

物語にならない？ それでもいいじゃないか。

ヒーローすら殺す。

物語さえなりたたせない。

善も悪も混沌としてる。

そんな自己満足で書いたような物語。

まあ、そんな物語がこれなんだけど。

本日はこれまで。  
お終い、お終い。

## これが僕の日常

たぶんそれは幸福でした。

永い時間求めていた幸福でした。

幸福は暖かくて気持ち良い。

こんな気持ちは初めてでした。

言葉にできないけど、ありがとう。

えー僕ですよー僕。

3話にして名前も明かさない、会話もしない。

主人公として主人公という概念をぶつ壊してますよ。

まあ、前置きはさて置いて。

今回は物語らしく“青春”と呼べそうな“何か”をしましょうか。

“何か”？

友情？ 恋？ 学業？ スポーツ？

さて、これ全てを行える場所があるでしょ？

ある程度の主人公は通うものだね……学校に。

だから今回は僕が学校に行くという、ただそれだけの話。

あ、一応言つておくと不登校ではないよ。

はい、ここで会話が行われると思った？  
ざんねーん、会話なんてしないよ。

だつて僕の物語だからさ？ 普通に会話なんてしないよ。

とまあ、書くけど、今はやることが無いのだよ。

授業……まあ、先生と呼ばれる人間が道徳という授業で妄言を吐いているんだよ。

だから学校という場好かない。

それに僕には勉強つてものが必要ないからね？

主人公つてのは勉強が出来る人や出来ない人がいるけど。

僕は全てにおいて最強なのさ。

だから勉強なんてやる理由がないし、それに僕という人間が道徳なんていうくだらない授業を受けるのなんて苦痛以外の何でもない。うぜえ……コイツの存在を無かつたことにしてやろうか……。

何が親切だ、そういう偽善者みたいな事を言つ奴ら全員むかつく。

とりあえず、道徳の授業が終わつた。

何というか帰りたい……。

つまらない……大学生が小学1年生の勉強を教えられるみたいにつまらない……。

だからここで初めて主人公らしく能力つてやつを使おうかな。主人公らしく、主人公らしくない用途で。

つーことで『分身』。

まあ、忍者物でよくある分身の術？

そんな感じで僕の偽者を椅子に座らせ僕は屋上へと足を運ぶ。

今は春。

やつぱりと言つか時期的には、まだ寒い。

だけど屋上から見る景色とやらは綺麗だった。

僕に綺麗な物が綺麗と分かるかだつて？

そりやあ分かるさ。だつて人間だから。

これでもキッチンと人間らしく、それこそ夏に虫取りをする少年み

たいに元気な少年だつた時期ぐらいある。

とりあえず寝よ……。

寒いからと言つても流石に春独特の空気を吸うと眠たくなる。  
そして僕は『4次元ポケット』から毛布を取り出した。  
さて、どの場所で寝ようかな。

人に見つかりやすい場所だと後々めんどくさそうだし。

……さて、ここで質問だ。

屋上で寝ている生徒（女子）がいる。  
主人公の選択は！

? 襲う

いや、これは流石に止めとこ！。

? 一緒に寝る

そこからいろいろ関わることになりそつなのでパス。

? 無視

うん、これが妥当だ。

というか、この場所から離れよう。

ここにいるだけで物語が進みそうだ。

ということで僕は授業をサボるために音楽室に向かった。  
たしか今の時間帯は使われてないはずだから。

そして「分身に全て任して帰ればいいじゃん」というシシ「ミサ  
ナシね。

音楽室……それは音楽の授業を受ける場所。

また放課後は吹奏楽部が使つてたりする場所。

そして今はまだ授業中。

でも今は音楽の授業はない。

だけど何だこのピアノを弾いてる少女は……。  
しかも上手いときたか。  
でも物語が進みそうなのでバス。

ここまで2箇所行つて2箇所共に女の子がいた。

つまり僕が行く場所は大体の確立でヒロインとなりそうな女の子  
がいる。

家の隣の少女、遅刻しそうでパンを加えて走る少女、図書室にいる文学少女。

どうやら僕が創ったはずの世界は僕の気を知るか知らないか分からぬけど、僕を主人公にしたいらしい。

だから僕はフラグは立てないし、フラグが立ちそつた場面に出くわすと逃げる。

ちなみにこの世界が平和なのは僕がいるから。

本当のこと言つと数年に1度、“悪”と呼ばれる奴らが何か企てるから。

平和が大好きな僕は大事になる前に“悪”的芽を摘む。

これがこの世界が平和な正体。

これが僕が主人公として目立たない理由。

自分では自分の役割は、世界の平和を守る主人公だと思ってるよ。  
だからそんな意味では主人公として頑張ってるんじゃないかな。

主人公として世界を守る。

これが僕の日常なのかもしれない。

物語

まともに自己紹介？まずは“まとも”を教えてください

時に迷いました。

迷路みたいな左や右に行つたり。

それがただ楽しくて、ただ悲しくて。

矛盾とも言える感情も嬉しく感じました。

だから僕は君を好きになりました。

どうも、僕だよ。

自己紹介をしよう。

僕です。

好きなものはないです。  
嫌いなものないです。

一応主人公やっています。

だけど主人公らしくありません。

どちらかというとダークヒーロー寄りです、もつと捻くれてます

が。

ヒロインはいません、友達もいません。

昔も今もきっと未来も独りぼっちで物語に生きます。

楽しくありません。

嬉しくありません。

寂しくありません。

悲しくありません。

僕は主人公だから何でもできます。

独りで生きていけます。

後悔をしないよつた。  
後悔をさせないよつた。

僕は今日も独りぼっちの物語に生きます。

……と、まあ無駄に言葉を並べてカツコよく見せたりする。

というかネタ切れなんだよ。

誰とも喋らず、物語が進まず。

何をしろと言つんだ……？

まあ、何もしないけど。

僕の戦闘パートなんて見ても誰も得しないだろうし。

すぐに終わるだろうし。

今日あつたことを話そつ。

4月19日、晴れ。

今日も世界は平和に回つている。

そしてクラスメートの頭も狂つてゐる。

やつぱりと言つべきか、主人公のクラスメートはバカばっかりだ。  
エロ猿とか。

まあ、今日もいつもどおりの代わり映えのしない毎日の中の1日  
だった。

日記的な感じで今日のあつたことを書き綴つてみたけど。

日記つて意外とつまらないものだな……。

日記つて読み返してみると面白いものだけど。

僕のは面白くないぞうだ。

日記で思い出したけど思い出か……。

そんな物僕にはあつたつけ？

なんて惚けてみるけど、確かにあった。

忘れてても忘れられなくて、今すぐここでも忘れててしまいたい過去。

そんな物が僕の中にまだある。

ああ、止め止め。

いつもこの手は苦手なんだ。

過去がどうとか、そういうの僕のするようなことじやないし。  
空気を読まず、おどけた仮面で踊るほうが僕らしくよ。  
まあ、やらないけど。

## 気分はどうだい？

ある日、君は言いました。

主人公って信じる？

僕は元気に「うん」と返事をしました。

君は漫画のような主人公に憧れていました。  
だから僕は君のために主人公になりました。

さて、僕だよ。

みんな大嫌い僕が登場だよ？

今日は何をしようか。

世界を破滅させようか。

人類を崩壊させようか。

めんどいからしないけど。

毎度毎度のことだけど、この物語つてつまらないよね。

うん、分かるよ。

だつて僕が主人公だもん。

何も事件が起こらず、会話もせず。

ただ刻々と時間が過ぎていく物語なんて、ただ文を書き綴つただけじゃないか。

上手くない、面白くない、こんな物語。

だつて読みんな者が言つ面白いと言われる悲劇なんて終わつてしまつた

ことだし。

だからそんな意味でこの世界で生きている僕の人生は物語の延長線にあたるところなんだから。

これ以上に面白くなるなら、それはきっと僕の中の最悪のハッピーエンド。

僕は幸せになつてはいけないし。

不幸せになるつもりもない。

ただ普通に。

普通に生きられたら。

そんな当たり前の主人公らしいことを言つてみたりする。

主人公なんてもつとカッ「悪く。

もつと弱く。

もつと脆い物なんだよ。

それを理解しない子供はテレビの中のヒーローを笑う。

笑う場面も真面目な場面も理解せずに。

なあ、僕。<sup>ヒーロー</sup> 気分はどうだ？

自分に問いかけようが、僕自身答えるつもりはない。

だつて答えようが答えまいが、その答えは僕自身が一番理解しているから。

だから僕は君に問いかける。

ねえ、君。<sup>ヒーロイン</sup> 気分はどう？

いるはずも無い君に問いかけても答えなんてあるはずがない。

だけど見えないし、聞こえない。

そんな答えを心のどこかで探している。

主人公として守るべき対象を探してゐる。

まあ、全て嘘だけじ。

気分はどうだい？（後書き）

今日は12月24日……  
ねえ、君（リア充）……気分はどうだい？

あ、遅くなつたけど忠告？

この小説は1話500文字前後の短い小説です！

## マジ僕1000%

僕は君を守りました。

悪といつ悪から。

君だけの主人公として。

自分がどれほど無力かも知らないで。

どうも、僕だよ。

今日は明るい感じでこいつと思ひ。

というか努力する。

努力するけど完全に100%できると思わないことだね。  
だって僕のことだから。

さて、明るい感じでどんな感じだろ？

んー……はて？

どうすれば明るい感じになるんだろう。

僕だよ

とかやればいいのかな？

というか、こんな面白くない物語を見ている時点で読者は暗い気みんな分になつて、イライラするのではないか？

まあ、そんなどうでもいい。

だってこの物語は全て僕の血口満足で出来てるからね。

明るい感じ……明るい感じじね。

どうも！僕だよ

みんなを幸せにするために生まれたんだつー（キラッ

つツツツー気持ち悪いー。

それにしても明るいお話かー。

アレだよ。

普通の物語なら他のキャラとして、主人公との日常を描くのだろうけど。

この物語、僕しかでてきてないからね。

脇役Aすら出てないからね。

あ、出てきたか。

道徳の時の先生とか屋上で寝ていた少女とか。

むうー……思いつかないんだよ。

いつも無駄に言葉を並べることしか能がないからさ。

いざつて時に思いつかない。

というか、けつして明るいとは言えないけど。  
いつもよりは明るいんじゃね？

うん、そうだそうだ。

いつもより明るい！

そしていつもよりポジティブシンキング？

と、まあ、いつもより可笑しい僕でした。

## 世の中で大きなこと＝子供のケンカ

自分は無敵のヒーローだなんて自惚れてた。  
だけど現実のヒーローも漫画の中のヒーローも負けてしまう事があるんだ。

そして僕が失ったものは命よりも大事なものでした。

こんにちは？ 僕だよ。  
時間や曜日の感覚なんてないよ。  
だって知つても意味がないし。  
でも偶に土曜日に学校に行つてしまつ。  
前も述べたけど僕は引き籠もりではない。  
大事なことだからもう一度言つ。  
引き籠もりではない。

一応毎日学校は通つてる。

ただ普通に。

ただ地味な子として。  
誰にも相手をされず。  
誰も相手にせず。  
ただその存在しているけど人みたいに。  
窓側の一番の後ろの席に座つている。

話を戻そう。

僕は今日が何日か分かつていない。  
たぶん4月なんだろうけど。

まあ、どうでもいいぜ。

だって世界は今日も平和に回っている。  
ならいいじゃないか。

後は考へることなんてない。

だって。

どこかで起つてゐる戦争も、平和に生きる僕らには関係ないつ  
りして生きてる。

どこかで起つてゐる不幸は、自分の不幸ではないと僕らは関係  
ないつりして生きてる。

まあ、人間なんてそんなもんだよね。

自分の見えない、自分の知らない不幸なんて自分には関係ない。  
実際僕だってそうだよ。

全世界を震撼させるほどの事件しか潰さないし。

どこかで行われてる戦争を次々と潰すなんて面倒くさい真似はで  
きないし、したくない。

だってそうでしょ？

僕以外で考へるな。

戦争を止めようと思つても、世界であつこじで行われてるケンカ  
を止めようと思つ？

答えはNOのはずだよ。

そんな小さいことばかり気にしてられない。

僕の中では戦争なんてそんなもんだよ。  
止めさせても、止めさせても止まらないからね。

だから今日は僕にとって平和な日常。

どこかで戦争が行われてようが、僕には関係ない。

だから今日も僕はいわゆる平和な日常を過ごします。  
見て見ぬフリをして。

だから今日も僕は授業を抜け出して寝ている。  
いつもどおりにね。

雨が降つたなら能力を使えばいいじゃない

分からぬ。

ねえ、分からぬよ。

僕には分からぬんだよ。

だから僕に教えてよ。

こんばんはー、僕だよ?

声が小さいなー。

もう一度。

こんばんはー。

まあ、1回田も2回田も誰も言ひてなこと無いナビ。

そんな感じで僕です。

あと少しで4月が終わつちやつとひりこよ?

関係ないけど。

でも4月が終わつちやつとホールデンウェイーク?

これも関係ないけど。

だつて友達いませんから。

何で悲しいセリフをさらつと書つか?

これまた関係ないから。

だつて友達なんて作ったら物語が進んでいまつでしょ?  
それを避けようと思ってね。

どちらにせよ、こんな性格の人にはできないでしょ？

まあ、お話を続けよう。

4月が終わっちゃつたら雨がどんどんと降るよね。

梅雨とかになつてずっと雨降ってきて。

ビツチョビツチョに……ならないけど。

僕の場合、水が僕を避けてくれるような能力を使えばいいだけだし。

だつて主人公だから。

こういうの能力の無駄使いつて言うけど。

使わなかつたら使わなかつたで能力の持ち腐れでしょ？

だから適度に使おうにも使う相手なんていないしね。

偶然そこらに悪魔と落ちてないかなー……いないだろうけど。

ただ偶然で悪魔が落ちてきて、そこに天使が登場。

悪魔ＶＳ天使の結果は悪魔が勝利。

そして主人公が天使を発見。

天使から力を貰つて天使の代わりに戦うことになる。  
簡単に思いつく物語だ。

だから、もしここで悪魔が登場するようなことがあれば、僕は悪魔を天使に見つからないやり方で殺すかな。

だつて巻き込まれたくないし。

普通の主人公だつて巻き込まれたくないと思つてるけど、そんな心と裏腹に天使と仲間になつちゃうでしょ？

だから僕はそうならないために悪魔という元凶を殺す。

力がない主人公もどきは力がないけど、僕には力があるから。

まあ、これは壊す力であつて守る力ではないんだろうけど。  
守る対象がいないからどうでもいいや。

もう夜だし寝るよ。  
おやすみ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5532z/>

---

主人公による主人公のための主人公

2011年12月28日21時53分発行